

子どもの学びをつなぐ

津市の教育

全ての中学校区で津市小中一貫教育を実施！！



津市小中一貫教育では、次のことをめざします。

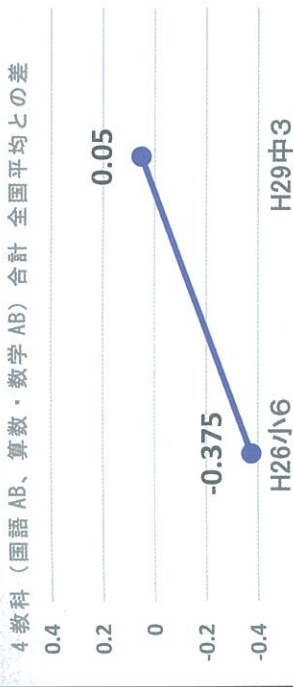
- 子どもたちの**学力の向上**
- 子どもたちの**学校生活の充実**
- 子どもたちの**豊かな人間性や社会性の育成**

学力向上

学校生活適応

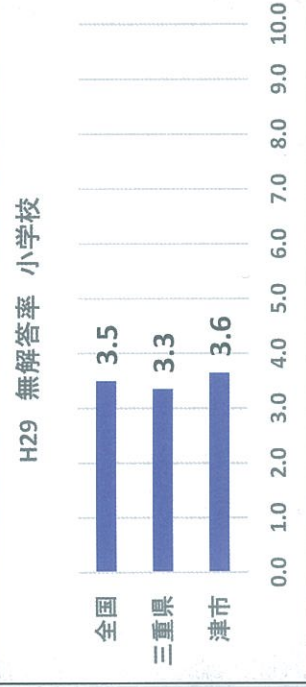
- ◆全国学力・学習状況調査の平均正答率において、平成29年度には全教科で全国平均を上回る。
- ◆全国学力・学習状況調査の無解答率を、平成29年度には全国平均と同等にする。
- ◆図書館の児童生徒一人当たりの図書貸出冊数を、平成29年度と比較して一人当たり5冊増加する。

全国学力・学習状況調査 全国平均正答率との差



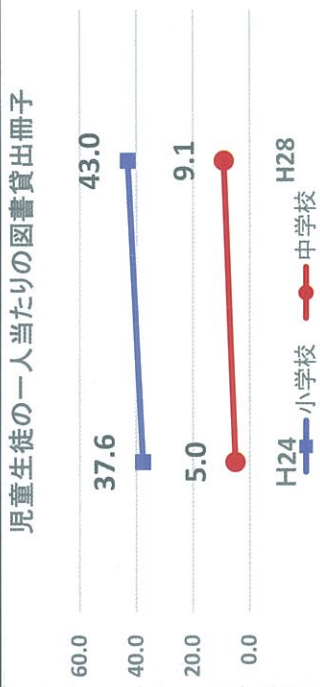
平成29年度は、全8教科(小中学校国語AB、算数・数学AB)中、中学校の数学Aのみで全国平均を上回るにとどまりました。
しかしながら、小中一貫教育が始まった平成26年度に小学校6年生であった中学校3年生の平均正答率は、全国平均をわずかながら上回っています。

全国学力・学習状況調査 無解答率の全国平均との差



平成29年度は、小学校の無解答率は全国平均と同等でしたが、中学校の無解答率は全国平均を下回ることができ、最後まであきらめず、積極的に課題に取り組む力が身に付いてきています。

児童生徒の一人当たりの図書貸出冊数の推移



平成28年度末の児童生徒の一人当たりの年間図書貸出冊数は、平成24年度と比較すると小学校で5.4冊、中学校で4.1冊増加しました。中学校区への図書館司書の配置、読書ファイルの活用等により読書に取り組む児童生徒が増えています。

みさとの丘学園開校

県内で初めて、施設一体型小中一貫教育を導入する義務教育学校のみさとの丘学園が平成29年4月に開校されました。

みさとの丘学園の取組

前・後期課程の児童生徒が諸活動に合同で取り組むことで、前期課程の児童がより高い目標を持ったり、後期課程の生徒が自己肯定感を高めたりしています。

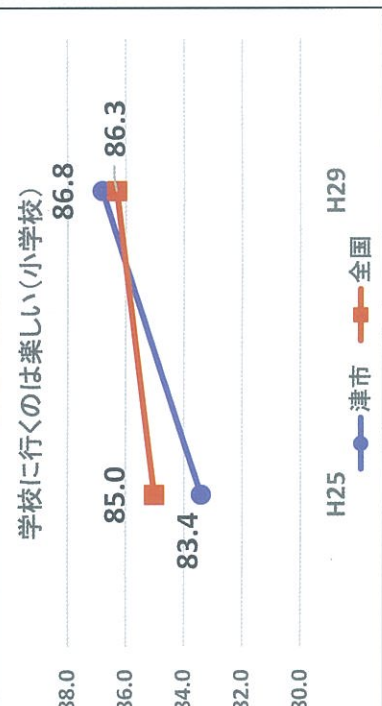


前・後期課程の学習内容のつながりを大切にしたカリキュラムを作成したり、授業理念を統一したりすることで、児童生徒が効果的に学べるようにし、学力の向上を図っています。

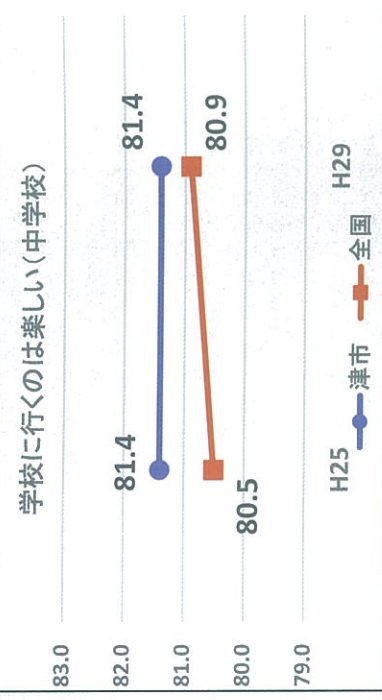
前期課程1年生から学ぶ英語(活動)や地域や人権について学ぶ美里創造学習で、美里のよさを世界に発信できる表現力を育んでいます。



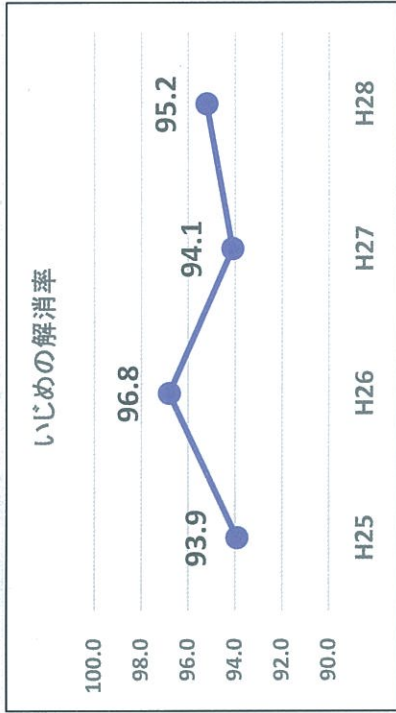
「学校に行くのは楽しい」と感じている児童生徒の割合



「学校へ行くのは楽しい」と感じている児童生徒の割合は、小中学校とも全国平均を上回り、平成25年度から比べると小学校では3.4ポイント上昇しています。



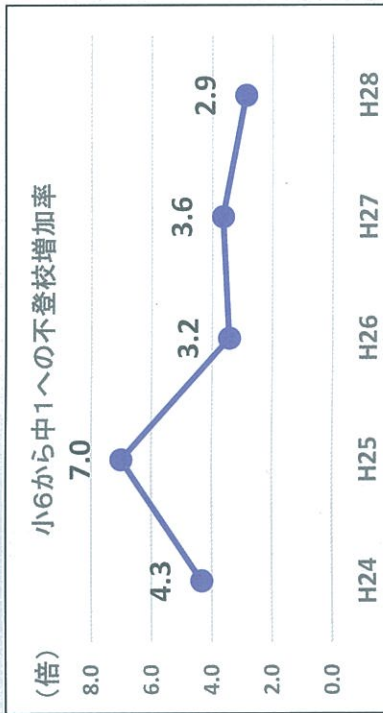
いじめの解消率



いじめを積極的に認知し、早期発見・早期解消を目指しており、解消率は上昇しつつあります。
各中学校区では小中合同で子ども人権フォーラムを開催し、子ども達が自分たちの生活の中にあるいじめや人権課題について話し合うなど、問題解決に向けた主体的な取組を進めています。



中学校進学時の不登校児童生徒数の増加率



不登校の増加率については、小中一貫教育が導入された平成26年度から減少傾向にあります。

【増加率】

中学校1年生の年度末の不登校数を、前年度の小学校6年生の年度末の不登校数で割った数とします。



津市小中一貫教育の成果と課題について

津市小中一貫教育は、小学校と中学校で一貫した指導カリキュラムに基づき、教職員の指導方法の方向性を統一した授業改善により、子どもたちの学力の向上を図りました。また、小学校と中学校、さらには、幼稚園、保育所とも子どもたちの情報交換を行い、教職員の子どもたちに対する共通認識を深めることでは、子どもたちが安心して学校生活を送ることに進み、子どもたちの実態が共有され、9年間を見通した指導や支援が行われるようになっています。このことにより、全国学力・学習状況調査において「先生から認められている」と感じている子どもが多くなってきています。
今後、それぞれの中学校区において、地域の特色を生かした小中一貫教育がより一層推進されるよう取組を進めていきます。

平成 29 年度 津市小中一貫教育 本格実施開始中学校区の実践紹介

(立成小・桃園小・久居東中) 久居東中学校区

めざす子ども像：「自主的な学習ができる子ども」「仲間をつくり仲間と共に生きる子ども」

- 1 幼小中学校交流会
校区内の幼稚園児を招き、久居東中学校にて吹奏楽部の演奏会を開催し交流をしました。
校区内小学校6年生と中学校1年生が久居東中学校に集まり、人権フォーラムを開催し交流しました。
校区内小学校6年生を対象に、中学校の部活動の様子を紹介し部活動を体験しました。
- 2 中学校教員による小学校での出前授業
中学校教員が校区内小学校に出向き、英語、数学、理科、美術の授業を実施しました。
- 3 教職員の合同研修会
1学期は中学校の授業を公開し、入学後の生徒の様子等について懇談を行いました。
2学期は小学校、中学校の授業を参観し授業検討会を行いました。また子どもたちの学校生活、家庭生活について話し合いました。



(黒田小・豊津小・野小・千里ヶ丘小・朝陽中) 朝陽中学校区

めざす子ども像：○望ましい生活習慣を身につけ、主体的に学び続ける児童生徒

○豊かな感性を持ち、自他や地域を大切にする児童生徒 ○たくましく健康な児童生徒

- 1 確かな学力と学ぶ意欲を向上させる授業づくり
「確かな学力の向上を図る授業」「互いに尊重し認め合う学級集団」を目指し、授業研究会や講演会を開催する。
- 2 統一した指導方針にもとづく生活習慣、家庭学習習慣づくり
学びの共同体での授業形態をもとに9年間の系統的な指導カリキュラムを作成する。
- 3 地域と連携した教育活動
地域の方をゲストティーチャーとして迎え、授業支援や講演会を行う。
- 4 河芸子どもたち展等の文化創造支援活動



(美杉小・美杉中) 美杉中学校区

めざす子ども像：「ふるさと美杉に愛着と誇りを持ち、たくましく、心豊かに生きる子ども」

- 1 小中学校合同行事
小中学校の児童生徒を16班に分け、たてわり班による活動を行いました。小学生と中学生がそれぞれの役割を分担し、声を掛け合い、助け合いながら活動することができました。
- 2 小中学校発表会 ～みすぎ秋まつり～
美杉小学校は『全校合唱』、美杉中学校は『美杉連山のろし太鼓』の演奏を披露しました。元気いっぱいすばらしい歌声と力強い演奏がホール全体に響き渡りました。
- 3 教職員の合同研修会
6月には美杉中学校で、また、11月には美杉小学校において公開授業を行いました。検討会では熱心な討議が行われました。



(榎原小・栗葉小・久居西中) 久居西中学校区

めざす子ども像：(1)自ら、学びに挑戦する子ども (2)互いに認め合い、つながりを大切にする子ども
(3)進んで、心と体を鍛えようとする子ども (4)地域を愛する子ども

- 1 学力向上部会
小学校4年生から中学校2年生まで自主学習ノートの活用に重点を置き、家庭学習の充実を図っています。
また、乗り入れ授業や「学び合い活動」も授業等に導入して取り組んでいます。
- 2 生徒指導部会
ノーメディアチャレンジデーとあいさつ運動デーを同日に設定し取り組んでいます。
- 3 人権教育部会
小中人権フォーラム、人権学習実践交流会、子ども支援ネットワーク行事の取組を進めています。また、特別支援教育部会及び保幼小中交流部会も活動しています。



(安濃小・村主小・草生小・明合小・東観中) 東観中学校区

めざす子ども像：保幼小中が連携して、子どもたちの生きる力の育成

- 1 授業実践交流会（研修）
各学校・園が授業を公開し参観しました。本年度は、明合小学校において意見交流会を行いました。
- 2 子ども人権フォーラム（人権）
昨年度は、中学校の文化祭の人権劇を共通のテーマで話し合い、交流をしました。
本年度も共通のテーマから話し合う予定をしています。
- 3 パン作り（特別支援）
小学校・中学校の特別支援学級に在籍する子どもが、保護者とともに交流しました。
- 4 生活リズムカード（健康教育）
各学校・園で生活リズムカードに取り組みました。本年度は、朝ごはんについて特集しました。



※ 平成30年度以降も、全ての中学校区で小中一貫教育に取り組めます。

お問い合わせ先

津市 小中一貫教育

検索

<http://www.info.city.tsu.mie.jp/>

〒514-0035

三重県津市西丸之内37番8号

津市教育委員会事務局 教育研究支援課

TEL：059-229-3243 FAX：059-229-3017